

常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年 9月 22日(木)

その3 通算 261号

◇11/4 山の学習(4・5年) 11/8・9 修学旅行(6年)の概要

<6年生 修学旅行の概要>

- ◆旅行期間 令和4年11月8日(火)・9日(水) 1泊2日
- ◆旅行先 奈良・京都
 - ★1日目：法隆寺・東大寺ほか奈良観光・学習&奈良泊
 - ★2日目：金閣寺・清水寺ほか京都市内観光・学習
- ◆交通手段
 - ★学校☒三河安城駅：マイクロバス（恵田小と合同）
 - ★三河安城駅☒京都駅：新幹線（修学旅行連合利用により半額）
 - ★京都・奈良の移動：マイクロバス（2日間とも学校で貸切）
- ◆宿 舎 ホテル花小路（奈良市小西町23番地 ☎0742-26-2646）

修学旅行の総費用は36,000円ほど。決して安くはないが、児童数が学年10名以下の超小規模校でありながら前述の費用で実施できるのは、「新幹線の修学旅行連合利用（修学旅行の団体利用で半額）」によるところが大きい。

対して、ほとんどの学校が「全行程貸切バス」利用に切り替わった。学校集合からそのままバスに乗れることや旅行集団がばらけにくいこと（児童の確認のしやすさ）、旅程での小回りが利くこと（臨機応変の対応）などがあげられる。

利便性を考慮して本校も貸切バスの利用を検討したが、バス利用代金を乗車人数で頭割りするため、旅行代金が4万円を大きくこえる。ここが悩みどころだ。

確かに貸切バス移動は、コンパクトでロスも少ない。それでも新幹線利用に踏み切ったのは、

- ①「新幹線の空調は抜群であり、ほぼ屋外並みであること」
- ②「修学旅行専用列車ではなく一般車両であり、乗車マナーも学べること」
- ③「修学旅行で初めて新幹線に乗車を経験する児童がいたこと」。
- ④「トイレの対応（高速道路走行中の緊急対応の回避）」である。

とはいえ、大幅改善も行った。大きな変更は、三河安城駅までの移動手段だ。

過去は愛知環状鉄道・大門駅に集合。そこから岡崎駅へ、乗り換えて三河安城駅、さらに荷物を抱えて新幹線ホームまで結構な距離を徒歩で移動。新幹線に乗車するまでがやっとこさ。帰路はこの逆。まさに「へとへと」になったものだ。

まずは、集合地を学校に変更。保護者による児童の送迎は慣れた道で、時間的な見当もつく。何よりも時間短縮が図ることができ、旅程に余裕が生まれた。

そして、変更した昨年のこと。帰路で緊急に対応しなければならない問題が発生したが、難なく対応。思わぬ形で変更した移動手段の有効性に確証がもてた。

二つ目は宿泊の利用ホテルについて。小規模校であるが、食事専用の個室、もしくは間仕切り対応で食事ができる空間の確保が最優先事項である。コロナ禍であるからというだけの衛生上の理由ではなく、旅館ではなくホテル利用で分散宿泊になるからこそ、さらに新幹線移動が一般客に交じる環境であるからこそ、食事の時間くらい学校集団だけの空間がほしいのだ。そして、今年度もこの問題はクリアしている。

<4・5年生 山の学習の概要>

- ◆期 日 令和4年11月4日(金) 宿泊なしのデイキャンプ
- ◆利用施設 岡崎市少年自然の家 岡崎市須淵町屋名平 44-1 ☎7-2357
- ◆交通手段 ★行き：学校➡少年自然の家：大型バス（学校貸切）
★帰り：少年自然の家➡自宅：保護者のお迎え
- ◆主な活動 ①火起こし体験
②炊飯活動(防災学習体験)
③グループ活動（4年生⑧・5年生⑩を3グループに編成）
④落ち葉スキー体験
⑤キャンプファイアー
- ◆その他 ・保護者の方は、キャンプファイアーの様子を見ることが可能

山の学習は本年度もデイキャンプ。というよりも昨年度のデイキャンプで得られた成果を重視し、方式を継続する形を取った。参加は4・5年生の合同で初。これは、学校単独実施のキャンプファイヤーの充実を図るための手段である。

特徴的なことは、山の学習の準備にかかる事前の準備時間を極力少なくしたことにある。火の取扱い等など、安全に関わることは勿論行うが、スタンプ練習は一切行わない。上級生の5年生を中心に、現地で編成したグループで子供たちに考えさせ、練習してファイヤーに臨ませる。ここで必要になってくるのは、子供たちに任せる（与える）たっぷりの時間。よって、屋外活動は厳選している。

現4年生は来年も参加。今年度に山の学習を経験し、流れを把握する。見通しをもって臨む来年は、下の学年を立派にけん引し、大成功に導くと期待している。

ファイヤー有のデイキャンプということで、帰宅時間等も考慮して今年度も現地へのお迎えを保護者の皆様をお願いすることになる。何卒ご理解いただきたい。